

令和元年度の活動計画等が決定

学園東町の地域内を運行する公共交通「まちバス」の導入を目指して、平成30年度に「学園東町まちバスを走らせる会」を設立し、地域住民へのアンケート調査等に取り組んできました。今年度も引き続き、まちバス導入に向けて検討を進めていくため、5月26日に「走らせる会」の第2回定期総会を開催し、令和元年度の役員、事業計画等を決定しました。

定期総会の様子



◇今年度の活動計画

- ①地域の目指すまちバスのあり方についての検討
- ②実現可能な交通体系の検討
- ③試験運行を検討してくれる事業者の選定
- ④試験運行に向けた運行計画を策定
- ⑤まちバスについて関心を高めてもらうために広報活動等の実施
- ⑥地域による利用促進策の検討
- ⑦先進事例地の視察

◇役員 (再任)

委員長	玉井	正俊
副委員長	西村	芳明
監事	小林	康人

定例会で今年度の進め方を確認

定期総会に引き続き、令和元年度の第1回定例会を開催し、まちバス導入に向けての進め方を確認しました。

まず、昨年度実施したアンケート調査の結果をもとに、周辺を運行しているバス事業者に、地域のニーズを示し、運行ルートの見直しの可能性を確認します。

バス事業者によるルート見直し検討についての回答を定例会において評価したうえで、路線バスの延伸、または新たなコミュニティ交通の導入を検討し、今年度中に運行計画を策定する予定としております。

■まちバス導入に向けての流れ

1. 目的(担うべき役割)の明確化
2. 地域の目指す交通体系を検討
3. 周辺を走っているバス事業者による運行ルートの見直し等の検討
4. 周辺のバス事業者・タクシー事業者等によるコミュニティバス・乗合タクシー等の実現可能性の検討
5. 試験運行を検討してくれる事業者の選定
6. 地域・交通事業者・行政で協議の上、運行計画を策定
7. 関係機関との調整、地域による利用促進策の検討
8. 試験運行の実施(予定)

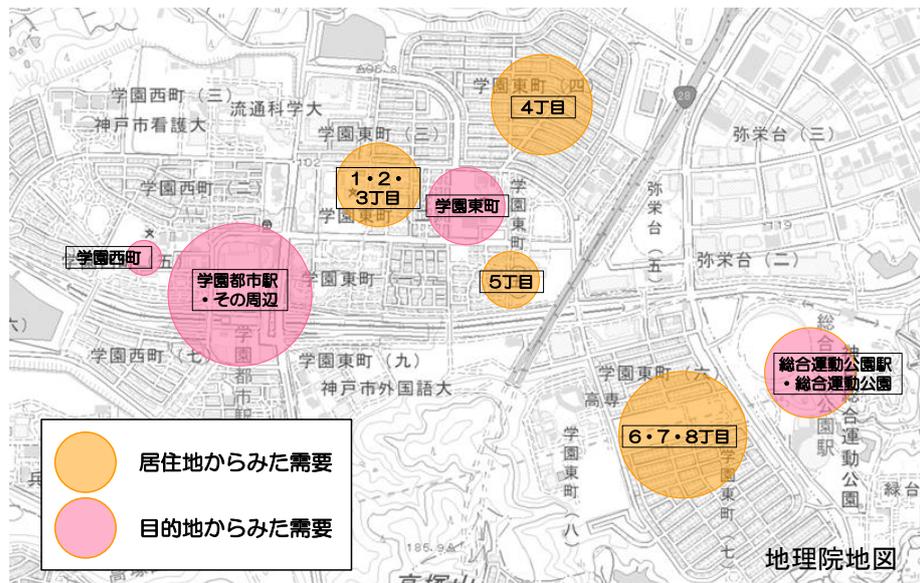
現在の
検討段階

今年度
に取り
組む
段階

バス事業者に伝える地域のニーズをとりまとめ

学園都市駅に乗り入れているバス事業者に対して、ルート変更の可能性について確認するにあたって、アンケート調査結果をもとに、大まかな地域のニーズを提示することとしました。提示するニーズの要点は次のとおりです。

◇移動ニーズ(居住地、行きたい場所) ～運行ルート検討の基礎



●アンケート結果をもとに、一定の条件を設定して推計すると、日平均延べ利用者数は、合計 296人 となる。

(単位:人/日)

	利用者数
1・2・3丁目	57
4丁目	82
5丁目	26
6・7・8丁目	132
計	296

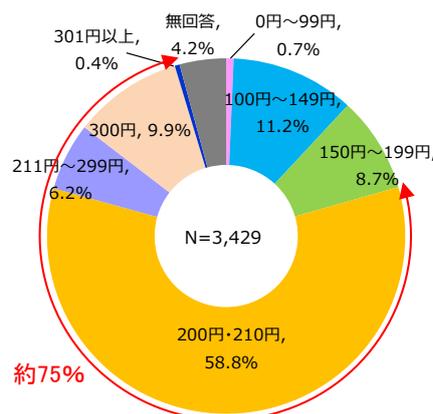
●行きたい場所は学園都市駅・その周辺が最も多い。総合運動公園・学園東町内へも一定の移動需要がある。

◇運行時間帯

- 利用したい時間帯は、
 - 50歳代以下では (20歳代以下が特に多い) **早朝・夜の時間帯**
 - 30歳代以上では (60歳代以上が特に多い) **午前・昼の時間帯**
- 年代により利用したい時間帯が異なる。

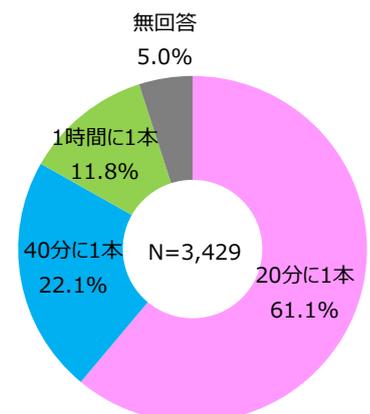
◇運賃

●運賃200円なら、75%の人が利用しようと思える。



◇運行間隔

●我慢できる運行間隔は、20分が61%、40分が22%。



事務局として一緒に活動してくれる方を募集！

走らせる会では、月1回程度、事務局・神戸市・コンサルタントの3者で進め方や取り組み内容を検討する事務局会議を行っています。この会議に参加し、一緒に考え、取り組んでくれる方を募集しています。関心のある方は、下記までご連絡ください！

※学園東町まちバスを走らせる会 事務局 E-mail: gakuenmachibus-boshu@yahoo.co.jp